

平成 22 年（2010 年） 6 月那覇市議会定例会

個人質問発言通告書（2 日目）

平成 22 年 6 月 16 日（水）

※ 1 人当たり 15 分間（答弁を除く）

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
1	宮 里 光 雄 (改革クラブ)	1 特定健診について	平成 21 年度までの受診率の推移と本年度の取り組み並びに課題について当局の説明を求める
		2 飼い犬等ペットについて	(1) 道路等での飼い犬等ペットの糞尿放置並びに飼い主の管理責任について定める法律、または、条例は整備されているか、当局の説明を求める (2) ドッグランの整備予定はあるか伺う
		3 沖縄セルラースタジアム那覇（奥武山野球場）について	施設管理・運営の年間計画は当初の予定通り進捗しているか当局の説明を求める
		【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、関係部長	

個人質問（２日目） 平成 22 年 6 月 16 日（水）

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
2	宮 平 のり子 (社 社 連 合)	1 市長の政治姿勢について 2 災害弱者について 3 高齢者や障がい者のごみ出し支援について 4 夜間中学の支援について	普天間基地をめぐる問題について (1) 日米合意についてどう考えるか (2) 県民の民意である普天間基地の県外・国外移設を実現させる方策について見解を伺う (1) 災害時に支援が届きにくい高齢者や障がい者などの「災害弱者」についての基本的な考え方について伺う (2) 災害弱者の把握はできているか。災害時避難支援計画はできているか伺う (1) 那覇市は指定の場所へのごみ出しがむづかしい高齢者や障がい者を対象に訪問収集を試行している。この「アシスト収集」の意義について問う (2) 本格実施を展開するべきと思うが見解を伺う 今年 5 月 10 日、衆議院沖縄及び北方問題に関する特別委員会において、社民党照屋寛徳議員が、珊瑚舎スコーレについて質疑した。高井大臣政務官は「自主夜間中学校の支援については、いちばん身近な存在である市町村が実情に応じて判断し支援が行われるべき」と答弁した。那覇市としてどのような支援を考えているか

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
		5 「那覇市障がい者差別禁止条例」の制定について	(1) 障がい者差別禁止条例の必要性や意義について伺う (2) 「障がいのある人もない人もいのち輝く条例づくりの会」(上里一之・岡島実共同代表)の「うちなーTRY」のメンバーが、障がい者の権利条例制定に向け、約一ヶ月間の本島縦断で14,774人の署名を集めた 来年の2月県議会定例会上程を目指している。このような動きのある中で、那覇市も市条例制定に向けて準備を始めるべきではないか 【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、関係部長

個人質問（２日目） 平成 22 年 6 月 16 日（水）

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
3	瀬 長 清 (自民・無所属 連合)	1 教育福祉行政について	銘苅庁舎内にこども図書館を設置することについて 近年、テレビゲームに加えて、携帯やパソコンなどの普及が人々の生活を変容させ、子どもの人格形成に大きな影響を及ぼしている 子ども達の言語能力を養い、豊かな感性や感情を持つ人間性を育成するための絵本なども含めた、こども図書館を新庁舎完成後銘苅庁舎内に設置することが必要と考えるが、当局の所見を求める (1) 子どもに対する読書教育の必要性和こども図書館の整備の必要性並びに、那覇市の取り組みについて伺う (2) 新庁舎の完成後に新都心銘苅庁舎内に、こども図書館を設置することについて、検討することが必要だと考えるが、見解を伺う
		2 都市計画行政について	違反広告物除去ボランティアの整備について 良好な広告景観と安全でより良い快適な生活環境づくり、協働の街づくりを一層推進するため、道路上に不法に掲出されている違法広告物を除去する、違法広告物除去ボランティアを整備することについて伺う (1) 那覇市内において、市が所管するエリアにおける違法広告物の現状と那覇市の取り組みについて伺う (2) 良好に広告景観と安全でより快適な生活環境づくり、協働の街づくりを一層推進するため、違法広告物除去ボランティアの導入を那覇市でも検討していくことが必要と考えるが、見解を伺う

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
		3 子ども支援 行政について	絵本を通して親子の絆を深めてもらう目的で、絵本のプレゼントや読み聞かせを行う子育て支援ブックスタート事業を実施しているが、その施策の概要と成果、今後の課題を伺う 【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、関係部長

個人質問（２日目） 平成 22 年 6 月 16 日(水)

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
4	平 良 識 子 (社社連合)	1 特別支援教育について	那覇市発達障害の子どもを持つ親の会は5月25日、教育長へ「那覇市内の小学校及び中学校に自閉症・情緒障害特別支援学級及び通級指導教室を設置するための要請書」を1,112名の署名とともに提出した。そこで以下、伺う (1) 那覇市内全ての小中学校に、自閉症・情緒障害特別支援学級及び通級指導教室を適正に設置すべきである。現状と、課題、今後の対応について伺う (2) 那覇市心身障害児適性指導就学審議会(就学指導委員会)は、どのような体制で、何名の児童生徒を検査・審議・判定し支援につなげているか (3) 市教委の特別支援教育担当は何名体制で、どのような業務を担っているのか (4) 発達障がい児支援の専門職員育成はどうなっているか (5) 那覇市に特別支援学校を早期に設置すべきである。那覇市在住で特別支援学校に通う児童生徒の数は何名か
		2 景観計画について	(1) 景観計画の進捗状況はどのようになっているか (2) 世界遺産を有する「那覇らしい眺望景観」について、那覇の文化的景観を踏まえ、都市計画にどのように位置づけられているのか問う
		3 地域再生協議会について	(1) おもろまち一丁目1番の再開発事業における地域貢献施設の設置はどのようになっているのか問う

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
		4 若年者雇用 について	(2) 協議会の議題設定と進行について、市当局から出された提案や、裁判を理由に協議が行われないことなど、なじまない協議が行われていることについて、市当局の姿勢を問う 今年3月、中・高・大学卒業者の失業者の把握はどのようにされているのか問う 【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、関係部長

個人質問（２日目） 平成 22 年 6 月 16 日(水)

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
5	與 儀 實 司 (自民・無所属 連合)	1 那覇市民首 里石嶺プール について	(1) 利用者の状況を伺う（過去３年間の推移） (2) 利用者の駐車場の確保はどのようなになっているか、当局の見解を伺う (3) 近くに代用が可能な駐車場（場所、敷地）があるか伺う
		2 農連市場地 区防災街区整 備事業につい て	(1) 事業の内容、事業スケジュール及び進捗状況について伺う (2) 農連市場地区防災街区整備事業の都市計画道路神里原線の事業地区外における影響について伺う
			【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、関係部長

個人質問（２日目） 平成 22 年 6 月 16 日（水）

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
6	前 泊 美 紀 (無 所 属)	1 子育て支援 について	本市議会平成 21 年 12 月定例会において、非婚母子家庭に対する所得税法上の寡婦控除みなし適用実施についての質問に対し、「保育料に関しては国の動向等を見ながら調査・研究していきたい」との答弁があった。その進捗を伺う (1) 当該対象となる世帯数と、それに伴う予算額について伺う (2) 現状を踏まえての実施の見込み、実施が困難な場合の課題を伺う
		2 公民館行政 について	(1) 牧志・安里公民館図書館（仮称）の設立経緯と名称募集の状況について伺う (2) 久茂地公民館図書館及び児童館の今後のあり方について ① 地域及び利用者、自治会、さらに関心を寄せる市民へ、どう説明し、どのような意見を得ているか。また、いつまでに方針を決める予定か伺う ② 児童館について、どう説明し、どのような意見を得ているか。あわせて今後の課題について伺う ③ 機能移転とした場合の跡地利用について伺う
			【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、関係部長

個人質問（2日目） 平成22年6月16日(水)

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
7	我如古 一 郎 (日本共産党)	1 教育行政・30人以下学級の実現について 2 子ども手当創設による住民税・所得税の増税について	(1) 少人数教育のメリットと教育委員会の目指す方針を問う (2) 国際的に1学級40人の定数は異常な多さといわれている。全国一低い学力を嘆き、学力向上を至上命題にするのではなく、きめの細かい指導や、わかる授業を進める、ゆとりのある体制をつくるために、全ての学年で30人学級の実施を県に強く要求すべきではないか (3) 平成22年度の小学校1、2年生を除く30人以下学級はいくつあったのか。全学級に対する比率はいくらか (4) 81人と80人では天と地の差が出るこの不平等を解消することが急務である。あと1人から10人程度いれば実質的に30人以下の少人数学級になれた学級数はいくつあるか 子ども手当創設に伴う税制度の改訂があり、次年度から特定扶養控除の縮小、一般扶養控除の廃止が行われる。その影響額を問う (1) ケース①夫婦・子ども1人12歳、給与所得500万円の世帯で、住民税と所得税の増税はいくらで、子ども手当での支給との差額はいくらか 以下、同じ条件で影響額を問う ケース②夫婦・子ども2人、9歳と12歳の場合 ケース③夫婦・子ども2人、16歳と18歳の場合 (2) 来年度に配偶者控除も廃止される懸念があるが、仮に夫婦のみの世帯で給与所得500万円で、配偶者控除が廃止されるといくらの増税となるか

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
		3 蔡温橋の名称標記のあり方について	安里川の氾濫で大きな被害をもたらした一因ともいわれていた、蔡温橋が架け替えられて、新しくなった 琉球王朝の偉人で名高い、蔡温の名が付けられている歴史的な橋であるが、橋の欄干に書かれている標記はひらがなでは「さいおんはし」である 私達が通常使用している親しみのある「蔡温はし」と濁音ではない。濁音でない理由はなにか 見解を問う 【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、関係部長

個人質問（２日目） 平成 22 年 6 月 16 日（水）

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
8	山城 誠 司 (自民・無所属 連合)	1 沖縄セルラースタジアム 那覇について	(1) 那覇市奥武山体育施設活性化検討委員会 はどのようなものか (2) 今月、29 日 30 日に行われるプロ野球公式 戦に関連するイベントはどのようなものか あるか (3) 全国高等学校野球選手権沖縄大会決勝戦 は行われるのか
		2 首里大中町の都市計画に ついて	(1) 首里大中町の都市計画はどのようになっ ているのか (2) 細部街路とはどのようなものか (3) 第 4 次那覇市総合計画の基本にある市街 地の整備、交通体系の整備、上下水道の整備、 自然と調和したまちなみの観点から見て非 常に整備がされていない様に思うが当局の 見解を伺う (4) 特に、都市防災と防犯の観点から首里大中 町での災害・救急出動道路幅が狭いために緊 急車両の進入は困難を伴うことが多いと思 うが、当局の見解を伺う (5) 旧県立博物館跡地の今後の計画を伺う
			【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、関係部長

個人質問（２日目） 平成 22 年 6 月 16 日（水）

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
9	湧 川 朝 渉 (日本共産党)	1 宇栄原南土地 地区画整理事業に伴う市域 変更案について 2 特別養護老人ホームの増 設と地域密着型特定施設の新 設について 3 幼稚園の給食の実施につ いて	(1) 我那覇地域の編入問題の経過と責任の所在について、見解を問う (2) 5世帯の市民の基本的人権を守る立場から、住民の要望にも応えて、住所をこれまでの通りに那覇市に確保すべきである。見解と対応を問う (1) 那覇市の待機者は何人か。改善されているのか (2) 2009年の12月定例会の代表質問に答弁した、100床の市内への増設と、地域密着型特定施設の新設はどうなっているのか、早急にすべきである。見解を問う (1) 公立の保育所・認可園や小・中学校において行われている給食の教育としての意義について、見解を問う (2) 預かり保育や教育時間の延長を行っている幼稚園は何園中何園か。それらの幼稚園の給食はどのような形態か (3) 県内で、幼稚園の給食を実施しているのは何園か。那覇市でも教育の立場から、幼稚園の給食を実施するべきである。見解を問う
			【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、関係部長

個人質問（２日目） 平成 22 年 6 月 16 日(水)

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
10	平 良 仁 一 (自民・無所属)	1 旧那覇市伝統工芸館について	(1) 旧那覇市伝統工芸館の規模と総工費、意義と目的について伺う (2) 何年何月にオープンし、いつ閉館したのか伺う (3) なぜ閉館になったのか。閉館になってそのまま放置されているが、その理由を伺う (4) 今後、この施設はどうするのか見解を伺う
		2 旧軍飛行場用地問題について	(1) (仮称)鏡水コミュニティセンター建設事業の進捗状況を伺う (2) (仮称)鏡水コミュニティセンター建設に関し、地元の意向が十分に反映されているか。反映をするためにどのような対応したか伺う (3) 工事の発注時期及び発注方法等について伺う (4) 旧軍飛行場用地問題は那覇市に二つの団体がある。旧小禄飛行場字鏡水権利獲得期成会は解決に向けて、着々と進んでいるが、もう一方の旧那覇飛行場用地問題解決地主会は現在、県や市との関わりはどうなっているか伺う
			【答弁を求める者】 市長、副市長、関係部長